

	事業分類	事業名	事業概要	担当者	計画	協力団体
1	学びの中継点	ミカタカフェ	"誰もが誰かのミカタになれる場所"をコンセプトにカフェ併設型のコミュニティスペースを運営。地域の大人と子どもの交流が生まれる場所、その出会いによって地域プロジェクトが生まれる 場所を目指す。	勝瀬	年間を通して下記内容の活動を展開する ・子どもたちの機会格差をなくすためのイベント実施 ・大崎海星高校・広島商船高専の学生を中心としたカフェ運営 ・多世代交流を通して新たな地域プロジェクト創出を触発するための場づくり	公益財団法人日本財団
2	学びの中継点	大学生くらし体験	大学生が離島で働くこと・離島で生活することを体験し社会を捉え直す機会としてもらうため、長期期間の滞在を受け入れ、島内での暮らしをコーディネートする。	勝瀬	・7-9月の夏休み期間、1-3月の春休み期間に全国から大学生のおためし暮らしを受け入れる ・年間を通して大学生の研究課題の取り組みやインタビュー依頼などに応える	
3	学びの中継点	SCHシンポジウム西日本	地域と学校の協働について、行政・民間・学校・地域住民など多様なセクターの実践者や関心を持つ人々が集い、対話を通して、知識を交換し、互いの実践を後押しするシンポジウムを開催する。	笠井	・10月中旬～11月上旬のうちで、シンポジウムを開催する。 ・9月もしくは、11月中旬～下旬で、旅するSCHを、佐賀もしくは島根で開催する。	大崎上島町 大崎海星高校
4	学びの中継点	絵本図書館ひみつきち	"みんなで作る絵本図書館"をテーマに、主に未就学児およびその保護者を対象としたコミュニティスペースを運営。誰もがありのままに過ごせる憩いの場として、子どもたちや保護者同士のつながりの創出を目指す。	澤口	・通常開館(1か月に2回程度) ・外部講師による親子向けイベント(1か月に2回程度) ・大人向け読書会(1か月に1回程度) ・LINEのオープンチャットで利用者の方へ情報発信	
6	学びの帆を開く	島チャレ	"やりたいことをはじめる第一歩"をテーマに、ひとり一人の「やりたいこと」を応援し、チャレンジを創出してアクションにつなげていくことを目的にした社会教育プログラムを実施。小学生から高齢者世代まで全世代を対象とした多世代交流の中で、地域で学び、面白いことをやりたい人たちのチャレンジが生まれるプラットフォームを目指す。	円光	・6月-2月を実施の時期とする ・講座は全7回、12月を最終発表会予定	
7	学びの帆を開く	高校生マイプロジェクト広島	認定NPO法人カタリバとパートナー契約を結び、全国高校生マイプロジェクトアワードの広島県Summitの運営と高校生プロジェクト支援活動全般を展開していく。県内の高校生がプロジェクトを深め合う仲間・メンターを見つけ、成果・過程を発表する機会の創出を目指す。	勝瀬	・7月スタートアップキャンプ開催 ・10月マイプロジェクト中間発表会開催 ・1月高校生マイプロジェクトアワード 広島県Summit開催 ・3月マイプロジェクトつぎSummit開催	特定NPO法人カタリバ、公益財団法人マツダ財団、広島大学スタートアップ推進部門
8	学びの帆を開く	清走中	大人も子どもも楽しめるゴミ拾い活動を通じ、ゴミ問題・海洋問題について考えるきっかけを提供するとともに、学校・職業・年齢を超えた地域住民の交流を生み出す。また、全国的にも注目を集める当イベントを通じて、地域全体で楽しみながら清掃活動に取り組める大崎上島町の姿を広く発信することを目指す。	勝瀬	・5月清走中大崎上島編2024開催 ・7月海洋プラスチックを活用したキーホルダーづくりワークショップを子ども向けに開催	株式会社Gab、大崎内浦漁業協同組合、海洋プラスチックアップサイクルプラントbuoy
9	学びの帆を開く	まなびのみなと夢基金	地域活性のために何かアクションを起こしたいと考える学生・大人の活動に対し資金援助を行うことで、大崎上島町での挑戦や学びを支援。一般社団法人まなびのみなとの資金と、大崎上島町のふるさと納税で得た収益により実施。また、「まなびのみなと夢基金ピッチコンテスト」を開催することで、地域・社会をより面白くしたいとプロジェクトを走らせる学生・大人のつながりの創出を目指す。	神田	・7月-9月 まなびのみなと夢基金ピッチコンテストを開催 ・3月 まなびのみなと夢基金活動報告会を開催	
10	学びの帆を開く	親子ワークショップ	親子・家族での来島を受け入れ、保護者がリモートワークをしている間に、子どもたちが島の遊び・学びを体験できるプログラムを開発・展開する。	勝瀬	・5月プログラム開発 ・6月親子ワークショップフェスでの広報 ・7-8月親子ワークショッププログラムの実施	大崎上島町、株式会社ノエ
11	学びの帆を開く	オンライン仕事図鑑	高校生への新しい学びをつくる一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが実施するオンライン探究プログラムの一環として、各地域のロールモデルの事例集となる仕事図鑑のオンライン版を製作する。	高橋	・仕事図鑑のオンライン版「キャリア図鑑」制作。全体像の設計、手引書の作成、モデル図鑑の作成、オンライン授業の開催(7~9月5回程度) ・地域越境プログラム「みら旅」in 大崎上島の開催。(8月末開催予定) ※オンライン版キャリア図鑑とみら旅は接続	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム
12	学びの帆を開く	大崎海星高校魅力化コーディネーター事業	広島県立大崎海星高校魅力化プロジェクトに係るコーディネート業務を実施する。地域に開かれた学校として総合的な探究の時間の学びづくりや公営塾、教育祭の運営サポート、全国からの地域みらい留学生の募集活動などの支援を行う。	円光	年間を通して下記内容の活動を展開する ・大崎海星高校魅力化プロジェクト全般の推進 ・総合的な探究の時間「大崎上島学」の実施、運営サポート ・大崎海星高校魅力化プロジェクトのPR ・全国からの地域みらい留学生募集活動 ・公営塾・寮の運営サポート	大崎上島町 大崎海星高校
13	学びの帆を開く	食を通じたまちづくり事業	島で暮らす小学生に「地域で学び、地域を学ぶ機会」を提供することを目的に、大崎上島町の事業者と連携した食の教育プログラムを実施。さらに、大崎上島町の豊かな食や教育機会を島の外へ発信・提供していくことを目指し、食の観光・教育プログラムのパッケージ化や食のフォーラムの開催に取り組む。	神田	・月に2回、島内の小学生向け食のプログラムを実施 ・年2回、小学生によるポップアップレストラン「SHIMALレストラン」を開催 ・「食のフォーラム」を大崎上島町で開催 ・島外向け食の観光・教育プログラムを開発	大崎上島町